

福田寺だより

福田寺住職

東寺真言宗の内局に入る

真言宗総本山東寺（京都市九条町）を本山とする東寺真言宗（管長・鷲尾隆輝祝下）では、平成四年六月十五日の第四十四次臨時宗議会に於いて新内局を発足させました。内局とは行政府に匹敵するもので、立法府の宗議会とともに、宗団の運営の要になるもので、とくに内局は実際に宗団の推進役となるものです。

東寺真言宗の内局は宗務総長を中心に四つの部長（庶務・教学・財務・法会）から成っています。その部

長の一つである庶務部長に、不肖福田寺住職橋本尚信が選出され、三年間の任期を引き受けることになりました。四十代前半の内局入りは異例なこと、光栄に思うと同時にその責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

折しも東寺は、平成七年に創建一千二百年の慶事を迎える時期に当たり、その準備が宗団あげて動きつつある時でもあります。その内容につきましましては、今後順次お知らせし

発行 55
 神奈川小田原市飯田岡二五七
 飯田山 福田 田 寺 36-27
 住職 橋本尚信 卍

しますが、すでに住職は六月の新内局スタートから十一月までの間に、八回本山東寺に出向いている状態です。

省みますに、昭和六十二年に東寺真言宗人権擁護推進委員となり、昭和六十三年に特別企画委員を兼任してより、本山東寺に赴く日々が続いています。この度、内局に入りその回数も更に増えることと思いますが、本山あつての末寺なればこそ、総本山東寺の発展は末寺の発展にもつながるものと信じ、与えられた職務に誠心誠意努力したいと思えます。どうか、檀信徒の皆様にはこの点充分にご理解いただき、陰ながら応援ただけますれば幸甚に存じます。

・・・・・・・・・・・・・・・・

東寺真言宗：真言宗の中で東寺を本山とする一派。他に金剛峯寺を本山とする高野山真言宗。醍醐派、大覚寺派、豊山派、智山派などあり。

真言宗総本山東寺（教王護国寺）

創建一千二百年を迎える

— 平成七年十一月に慶讃大法会 —

福田寺の本山である京都の東寺では、来る平成七年に創建一千二百年の慶事を迎えます。これは平安遷都一千二百年の祭典を京都府や京都市が中心になって、平成六年に執行するの引き続いて行われる訳ですが、東寺及び東寺を本山と仰ぐ東寺真言宗にとりましては、百年に一度の時を迎えることになりました。

この、慶讃大法会の企画が、いま宗団あげて検討されています。現在慶讃大法会企画書案が提示され、それを運営するに当たり、本山及び宗団から「東寺真言宗奉賛会一千二百年実行委員会」が組織されました。

この組織は法会、結縁灌頂、財政、渉外、文化イベント、宣伝広報、展示の各部から成り立っています。

企画書によると、期間は平成七年十一月八日から二十一日までの十四日間、その間各種法要、結縁灌頂、その他演劇や音楽のイベント、マングラを中心とした展覧会、茶会、いけばな展、弘法市など盛りだくさんの催しが予定されています。

更に東寺の宿泊施設である洛南会館は、この期間末寺寺院の団参の為に全館借り切っています。いずれ関東・神奈川地方の末寺寺院にも団参の案内があることと思えます。

福田寺としても、この間に本山東寺への団体参拝を計画したいと思えます。その折には是非ご参加くださいますことを期待しております。

東 寺

延暦十三年（七九四）桓武天皇は動乱の中に奈良から長岡京を経て、京都に都を遷し平安京の造営を開始されました。その時羅城門の東西に大寺を置かれました。その一つが東寺で、もとの場所にそのまま残って現在に至っております。この東寺が寺院として本格的な構えを整えたのは、弘仁十四年（八二三）嵯峨天皇が、空海（弘法大師）に東寺をゆだねられてからのことです。大師は、唐で新しく学んだ密教をもって、東寺を真言宗開宗の根本道場とされたのです。

平 成 四 年 雑 感

今年も余すところわずかになりました。この一年皆さんいかがな年でしたでしょうか。年の瀬になりますと十大ニュース等がとりぎたされませんが、各人が自分の十大ニュースは何か胸に手を当ててみるのもよいかもしれません。

それにしても、年をとるごとに一年が早く感じられるのは、私だけではないと思います。若い頃はそんな一年の早さなどは考えなかつたように思います。いったいこれはどういうことなのでしょう。

時が過ぎ去ることを仏教では、ただ単に時間がまわっていることとはとらえません。仏教で時が過ぎるということは、物事の変化を以て認識します。変化がなければ時は移らな

いのです。しかし時は必ず動いていきます。いいかえますと、私達のまわりの物事は時々刻々必ず変化しているということですが、物だけではなく心もしかりです。私達の身の回りのありとあらゆる物、否、私に係わるすべてのものが、一瞬一瞬変化しているのです。

話を元にもどしますが、私達が一年間を長くあるいは短く感じるの、その年にどのような変化を感じたかと置き換えてもよいのではないのでしょうか。何もしないで平々凡々と過ごしてしまえば、時はあまり動かないまま一年が過ぎてしまったことになるのではないのでしょうか。その時一年の早さを身にしみて感じるのでしょうか。

お経を讀む会

十五回進む

昨年（平成三年）の九月から始まりました「お経を讀む会」も今年の十二月で十五回を重ねることが出来ました。十四回めで一応般若心経の講讀を終えることが出来ました。今回から新たに「在家勤行法則」の全般的な説明に入りました。どうぞご都合のつく方はご自由に参加下さい。

毎月十五日

夜七時半より一時間

テキスト

東寺真言宗在家勤行法則

（寺にあります。）

参加費用 一人百円

次回 一月十五日

新年厄除け薬師護摩供養

申し込み受付中

▼▼▼▼▼
一月八日午後一時より修行
▲▲▲▲▲

真言密教には、病気を主に他のあらゆる苦しみから逃れる手段として薬師如来を奉り、一切の苦難の原因を取り除く護摩供養が、千数百年の間連綿と受け継がれています。

人間の心底からの願い、悩み、苦しみを、真正面から受け止めてくださる仏様、それが薬師如来さまであります。現実を肯定する密教にあって、自分をさらけだしておすがりできる仏様です。

福田寺の本尊は、この薬師如来さままで、古来よりその靈験は近在に知られております。新年恒例の薬師護摩供養会を下記の要領で修行いたしますので、護摩ご希望の方はお申し込みください。檀家以外の方でも勿論結構です。

記

期日・・・一月八日、午後一時より

祈禱料・・・三千元

祈禱内容・・・厄難消除（厄よけ）

身体健全、病魔退散

家内安全、その他

申し込み・・・一月七日まで、電話可

平成五年厄年

男性

前厄 昭和二十八年生まれ

本厄 昭和二十七年生まれ

後厄 昭和二十六年生まれ

女性

前厄 昭和三十七年生まれ

本厄 昭和三十六年生まれ

後厄 昭和三十五年生まれ

元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より一時まで、住職により新年の御祈禱が修法されますので、ご自由に初詣下さい。尚、年賀等一切不要ですので念の為。

暮れのお参り

古い護摩札やお守りなどは、暮れのお参りの時に、本堂入り口に用意された納め場所に納めて下さい。特に大きなものや、燃えないものは、寺の者に連絡してください。